
オオカミ少女と嘘

はちすけ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オオカミ少女と囃

【Nコード】

N8428X

【作者名】

はちすけ

【あらすじ】

『オオカミ少女』はやさしい子だったんです。
だから、

囃つきにされてしまった。

そんなオオカミ少女の恋のお話。

皆さんは『オオカミ少年』という物語を知っていると思います。

羊飼いの少年が、

「オオカミが来たー。」と何度も嘘をついたために、
本当にそれが真実になった時には、誰にも信じてもらえなかった。

というお話でしたね。

そんな私は、

”オオカミ少女”と呼ばれています。

オオカミ少女は、初めは普通の女の子でした。

普通に友達がいて、恋をして、それなりの楽しい暮らしをしていました。

そんなある日、

オオカミ少女は友達に

「この手紙を***くんに渡してくれない？」と頼まれました。

オオカミ少女は、友達思い。だから、すぐに渡しに行きました。

だって、その男の子は友達の好きな人だったから。

きつと、告白するんじゃないかと、思っていました。

次の日

学校に行ってみると、その男の子から言われました。

「なんで、昨日来なかったんだよ。」と

オオカミ少女は訳が分かりませんでした。

だから、どういうわけかと、聞いてみると、

「昨日の手紙に、放課後に話すことあるって書いてただろ。お前が。」

ということでした。

手紙は、友達から頼まれたもので、

昨日は特に話すことがなかった。と

その男の子に話しましたが、

なにぶんその友達自体が今日学校を休んでいるので、
事情が聴けず、

そのほかの友達にも聞いてはみるもの

あまりいい返答は帰ってきませんでした。

それからは、なぜか少女の伝えることすべてが裏目裏目に。

あとから、考えればすべて友達の”嘘”を伝えているのです。

そうして信じてもらえなくなった、

オオカミ少女は、

今までについたことのない大嘘をつきました。

「私、あなたのことが大嫌い。」

大好きな子に。きっと伝わらないだろう。

それも嘘と言われ、

軽くあしらわれて信じてもらえないだろう。

でも、

今日は

嘘の日。

四月一日。

私は、大嘘つきの
”オオカミ少女”

（後書き）

初小説なので、きつとおかしなところがあつたと思います。
書いてて混乱してる自分がいましたから。

ここまで、私の『オオカミ少女』を読んでもくださって、
ありがとうございます。

よかったら、コメントと評価していただけると嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8428x/>

オオカミ少女と囁

2011年10月23日08時23分発行